

平成24年2月第2回教育委員会定例会

【日 時】平成24年2月23日(木)午後1時30分～午後3時45分

【場 所】北栄町役場大栄庁舎 第4会議室

【出席者】吉田助三郎委員長・河本恒夫委員長職務代理者・齋尾暁美委員・磯江典子委員・岩垣教育長・田中教育総務課長・西村生涯学習課長・岩田指導主事・桑本指導主事・大庭教育総務課係長

【議事日程】

1 会議録署名委員の指名 河本委員、齋尾委員を指名

2 行政報告

教育長

・教職員人事について

給食センター栄養職員の加配を1名、来年も要望。

・地区学習会の閉級式、閉講式について

子どもたちが1年間学習して振り返った感想を発表、自分は部落差別をしないということをしっかり言う子、相手のことを考えて行動しないといけないと言う子。表現力、発表力も付いた。

・2月17、18日幼稚園作品展について

子どもたちの個性が現れている作品が多かった。壁面に大きな雪遊びの絵、職員の熱意も伝わってきた。由良駅から松崎駅の学習に行った体験を活かして線路、トンネルを作ったりして活動にまで発展して体験活動から造形活動にまで発展しすごいなと感じた。

(質問) 幼保一元化になる大誠、由良も、給食は同じように扱うのか。

(回答) 給食は自園方式。北条4、5歳児は給食センター方式。

教育総務課長

・(財)竹歳敏夫奨学育英会について

・工事の発注等について

(質問) 体育館遮光シートはなぜするのか。

(回答) 現在は暗幕を張っていたが、経年化のためシートに張り替えるもの。

(意見) 体育館遮光シート貼工事は、定期後の中で基準法と合致するか。建築に携わっていない人でも定期報告の内容を見ると分かる。学校などは、建築基準法が優にしているため、自分が言うようなことはクリアしているかもしれない。調べてみる価値はある。

(回答) 後日確認する。

・北条中学校入学説明会における制服の注文チラシ表記のトラブルについて

(説明) 2月1日、北条中学校で入学説明会時に、制服について衣料組合の方が案内チラシを出され中の一文に「倉吉で作られる制服は偽者です」と表現があった。倉吉の「ウォーキングケア」という業者ですが、小学校からはそこでもいいと認めているが、衣料組合は、そこはあくまでも偽者だと主張があり載せられた。保護者の方から、去年倉吉で作った制服が偽者だという形での案内が配られたけどどうなんだ、と学校に問い合わせがあった。学校としては、きちんと答える意味で新入生の保護者の方に、その制服はうちとしては認めているということで、配布する文書は学校が事前にチェックしないとイケないというお詫びの文書を出した。衣料組合としては、北条中学校ができた当初からその制服は組合が関与しているものだからあくまでも衣料組合のものだということを主張している。しかし、衣料組合が扱っているところは土日が休みだし、5時に閉まってしまうと保護者から要望があって土日でも作ってもらえ、すぐに対応してもらえる業者も教えてほしいとあって、倉吉も入れられたということ。

(発言) 前にも同じような趣旨のことがあった。

(意見) 現在中学1年の保護者の方からメールが来た。「新入生の説明でウォーキングケアの制服は偽者の海賊製品コピー商品という価格表が配られたようだ。衣料のタナカが出しておられ、教育委員会でどうにかならないか」ということ。電話して聞いてみたら1件しかない。タナカさんの態度が保護者として嫌だ。先生に聞いたらウォーキングケアさんでも作れると聞いたが、体操服はどうかと。逆の立場から考えると、お客さんが離れていけないにはどうしたらいいか、お店も努力しないといけない。

(意見) 教育委員会でどうするかという問題ではない。学校と業者と話し合いをしてみよう。

(回答) 商工会と町長が語る会があるので、町長に経緯を話して理解してもらった。今あったように、業者の方にも努力してもらわないといけない。中学校の取り組みの1つとして、タナカさんにJA中北条、下北条で取次店ということをしてもらうよう話をしている。

(意見) Aコープで現物がないのでタナカさんまで行くという形となっている。

(意見) 今売店はない。学校に売店があれば買えるのに。

(意見) 大栄中の方は、3業者ある。組合だと言って、よそは入れないようにしている。ウォーキングケアさんは、1回北栄町の衣料組合に入られたが、除名処分をされた。

・他中学への就学の現状について

(説明) 北条中学校の新1年生69人。湯梨浜、付属に10数人、大量流出し3学級が組めなくなったので2学級になる。付属が1人、米子北斗2人、湯

梨浜が 8 人、養護学校が 1 人、その他 1 人、転居 1 人、合計マイナス 14 人で 55 人。湯梨浜は 1 学年 30 人募集、北条から 8 人も行く。月額が 33,500 円、普通の中学校なら無料。湯梨浜はバスがあったり、土曜日があったり、塾の系列があったり。

(意見)もうちょっとよく調べてほしい。流出した理由と、なぜ親がそこまで魅力をもつのか。

(意見)公立ではできないことをやっていくことが魅力。外国語の問題、修学旅行も国外にでる。費用を伴うこと。保幼小中連携について、小学校から中学校に行き、その繋がりよりも外の繋がりがある。

(回答)湯梨浜はまだ成果がわからない。中学から上がった子の卒業はまだない。高校から入った子はある。

(意見)教員も危機感を感じてほしい。公立の見る目が変わってしまった。

生涯学習課長

- ・子育て学習講座の開催について
- ・第 6 回北栄町公民館まつりについて
- ・北栄町子ども公民館まつりについて
- ・第 2 回北栄町隣保館運営審議会兼児童館運営委員会の開催について
- ・地区学習会の閉級式、閉講式について
- ・平成 23 年度北栄町スポーツ表彰式と第 3 回日本海新聞ふるさと大賞表彰式について
- ・第 3 回社会教育委員会兼公民館運営審議会の開催について

(質問)子どもの公民館まつりは今年初めてか。

(回答)初めて。去年までは大栄分館と分けていたが、今年は一箇所にとまとめたもの。大栄分館は子どもほくえい塾等子どもを対象にしたまつりをやってみようかということで取り組まれた。1 日だけでしたが結構にぎわいました。

(質問)430 名というのは子どもだけか。

(回答)大人も含めての人数。

3 議事

議案第 7 号 北栄町立幼稚園保育料徴収条例の一部を改正する条例の議会提案について意見を求めることについて

(質問)保護者 1 人について考えは変わらないのか。減免も含めて。

(回答)今のところ、4 歳以上で短時間(2 時まで)に降園する)利用児の申し込みはありません。幼稚園としての扱いを受ける子どもは実際ありません。幼稚園部で幼稚園教育を行うが、幼稚園の基準に合った子どもは現在のところいない。

(質問)・大誠、由良もか。

(回答)北条も含めて。今までの幼稚園もなかった。幼稚園は4時間の教育時間で、2時の降園ですが申し込みはない。8時半に行って2時に帰るのが普通の幼稚園だが、朝早く連れて行って、6時ごろまでみてもらうのが長時間保育。

(質問)保育所と幼稚園が1つになるとはいえ中の機能は一緒なのか。なのにお金が変わってくるのか。変えないといけないのはどういう理由か。認定こども園になると保育料の徴収は1つの枠があってそこで出さないといけないからそこで保育、幼稚園の部分も同じ扱いでしないといけないという理由があるのか。

(回答)基本的に保育料を下げた。幼稚園も実質的には保育料は幼稚園の部分も減額という改正が基本にある。

(質問)安くしたり高くしたりするか。

(回答)中部の中で高い保育料の部分があったので、町長の思いとして下げたい。湯梨浜が一番安いということで、家を建て人口が湯梨浜に集中したことがある。それだけ魅力があるということで保育料をいかに安くするかということが課題になる。施設が集まることによって、職員数も減る部分もある中で効率化を図る。それも保育料の低下に繋げる部分もある。保育料の見直しが町長の中にあっただのは事実。

(意見)基本的には保育料を安くしようという考え方があって、職員の数が減り経費が少なくなることもある。安くするにあたってはいろんな保育の仕方がある。

(質問)4月からは今までは保育料だったのが4歳児以上は幼稚園の基準になるので安くなるのか。栄、大谷はどうなるのか。

(回答)大谷は一緒。栄は社会福祉協議会がするが、たぶん合わせると思われる。

(意見)比べてみると保育料のほうが高いかんじがする。町内の4歳以上は同じ金額。

(回答)町の階層区分は1つ増やして小刻みにした。条例の部分と2番の月の途中で入園または退園した者についての取り扱いは保育所が日割り計算で対応しているところも合わせて、幼稚園も日割り計算で対応する事を条例上では省いて規則で求めるようにする。

原案のとおり承認。

議案第8号 北栄町中央公民館条例の一部を改正する条例の議会提案について意見を求めることについて

(質問)条例の文言の通り。一言で言うとどういうことか。

(回答)国の方針で町も省令を参考にしてより具体的に内容を見直した。

(質問)家庭教育の向上に資する活動を行う者というのは、具体的にはどういうことか。

(回答)青少年育成関係者、児童館館長、文化団体の関係等。

(質問)そういう人は学識経験者の中には入らないのか。

(回答)広い意味では入っているが、家庭教育基本法の中で家庭教育をうたった。その流れから社会教育法も改正したという中で、家庭教育を重視するというのも流れてきている。

原案のとおり承認。

議案第9号 指定管理者の指定の議会提案について意見を求めることについて

議案第10号 指定管理者の指定の議会提案について意見を求めることについて

(質問)いずれも期間が来たための更新ということですか。評価委員とかで評価しているのか。

(回答)やっていない。委託しているところから自己評価を出してもらう必要がある。

(意見)成果を数字、目標達成の評価をしてかからないと判断できない。

(意見)改めて評価委員をつくる必要があると思う。委託したのだからこちらが指導していく。

(意見)行政評価委員みたいなもので評価する必要がある。例えば、対抗馬が出てきたらどうするか。達成率などを把握しておかないと。

(意見)委託している項目ごとに自己評価で書いてもらうものいいと思う。

(質問)委託するのはいいが、教育委員会としてはどういう立場なのか。何をするのか。

(回答)一年に一回は成果と課題を出してもらう。

(意見)評価委員会を立ち上げるよりは教育委員会が評価する。

委託先から3年間の事故評価を提出させ委員会で評価を実施する。

議案第11号 区域外就学について

原案のとおり承認。

議案第12号 区域外就学について

原案のとおり承認。

議案第13号 校区外就学について

原案のとおり承認。

議案第14号 校区外就学について

原案のとおり承認。

議案第15号 区域外就学について

原案のとおり承認。

議案第16号 区域外就学について

原案のとおり承認。

4 協議事項

・平成23年度教育行政内部評価について

(意見)5段階評価の内部評価がEの項目が2つあります。よっぽど悪かったという評価になるので本気で分析していく必要がある。

(回答)ディスカバー北栄2011(ボランティアで守る町内文化遺産)この事業は未実施だったので、評価に値しないということでEになっている。23年度の新規事業ということで計画を立てて、町内にある35箇所の指定文化財をより知ってもらうために、清掃・除草等ボランティアをやっていこうということで計画しが自主的に実施できなかった。理由は人手がなかった。職員の人件費によるもの。

生涯学習推進講演会の開催は、交付金事業で取り組んだもので講師としてお呼びしたのがJAXA(宇宙飛行士の候補生として試験)の江澤佐知子さんでした。実際、大栄農村環境改善センター400席のうち、56席しか埋まらなかった。事業的な結果としてEでした。担当と翌日検証したが周知方法としては特に異論はなかったですが、夢を語る講演ということになると、小学生、中学生、PTA等に広報活動をしながらか参加者を募っていくということが必要だという課題を残した事業。この評価は、参加者が少なかったということに対する評価。事業的には非常に良いと思いますが周知活動を今後考えていく課題が出た。

(質問)参加してくれた56人の意見、感想、評価はどうだったのか。

(回答)講演内容は非常に良かったということでしたが、参加者がまばらだったのでその評価は高くなかった。

(質問)・数だけの評価であるが、これからの人たちに未来に希望をもたせるという意味合いがある事業。参加してくれた人はそんなことありませんでしたというような内容だったらEで仕方ないと思う。周知徹底の問題があったが、参加してくれた56人が非常に良い講演だったということなら、これから輪を広げていくということを努力して進めるのだが、EではなくてDにするのか。そういう評価の仕方をした方がいいのではないか。

(回答)講師の方に申し訳なくてがっかりでした。子どもさんが出やすいように土曜日夜にしたのですが、夜は出にくいということもあって参加者が少なかった。

(意見)子ども相手にした方がいい。学校教育、学校とタイアップしてやらないといけない。

(発言) 24年のすいかながいもマラソンに来たいと言っている。時間的な調整がつけば中学生に聞かせてやりたい。来られるかまだはっきりわからないが、年賀状にはこのように書いてあった。泳ぐことひとつにしても泳ぎをクリアしないといけないのでスイミングに通って自分で練習している。

(質問) これは議会に出すのか。

(回答) 最終日の3月21日に提出する。

・平成23年度児童生徒表彰の内申について

(質問) 作品はどんなものか。=資料提示

(質問) 校長からは何賞とかないのか。

(回答) 要綱に決められている賞。

(意見) 親切賞はあいまい。

(回答) 実際の現場の声としては、要綱の1行だと非常に苦しいと言われる。例えば、「生活習慣を守り努力している者」具体的にどの子を選ぼうかと難しい。具体的なものがあって、これに該当すればこれというのがあるといいですけど。「無遅刻無欠席」とか。選定するものも大変だという声は聞いていました。

(意見) 校長も選定は大変だと感じる。全体を見ながら決めないといけない。

5 報告

・平成24年3月北栄町定例議会の日程等について

・平成24年度教育委員会関係予算の概要について

(質問) これは全員協議会を通っているのか。

(回答) その時点での説明をして質問を何点かありました。学校教育の中でいくと弱視学級申請される、視力0.3というのは矯正視力でのことかというような細かな質問もありました。特に教育委員会の学校教育であったのは給食センターのところでした。給食センターの管理規約のところでは人件費の部分、正職員3名での人件費と臨時職員11名分の賃金が同額ということについて、議会の座談会でも出ていたが、何も考えないのかというような発言がありました。実際、調理部門の民間委託の検討というのを今後もしていくというなかで、そのことを含めてどういう運営体制にするのか24年度中に結論を出すことになろうかと考えたが、これ以上は聞かないと言われた。

(質問) 生涯学習課は。

(回答) 質問項目は18点ありました。隣保館の関係、人権同和関係が多かった。館長の報償費の兼務のところとか、スポーツクラブの委託についての費用対効果のあたりとか、文化財のボランティア関係のこととか、多種多

様でした。

(意見) 学校教育よりは社会教育のほうが見やすいから。目に見やすいから質問しやすい。

- ・住民生活に光をそそぐ交付金事業について

(質問) 認定こども園の名称はどうか。

(回答) 北条こども園、大誠こども園、由良こども園で、漢字を使ってルビを打つ。園章は、1名の方がデザインしたのが選ばれた。園歌では、森田園長。作曲は、河北中学校のこだにとしひこさん。音楽のエキスパート教諭。

6 その他

- ・次回教育委員会
臨時会 3月13日(火)午後4時00分から
定例会 3月29日(木)午後1時30分から